



令和元年8月
玉島保育園

ほけんだより

梅雨が明け、真夏の太陽が照りつけている中、子どもたちはプール遊びをととても楽しんでいますが、水は命を脅かす危険なものでもあります。睡眠不足・食欲の低下・カゼ気味などの時には水の事故が起きやすくなります。しっかり寝て、たくさん食べて、体調を整えましょう。家族でのお出かけなどを計画されている方も多いかと思いますが、大きなケガや事故のないよう、たくさんの楽しい思い出を作ってきてくださいね。

日本脳炎~~✓~~ MR(麻しん風しん)~~✓~~ 予防接種

3歳になったら、日本脳炎の
らいおん組になったらMR(麻しん風しん)2回目の
定期接種の対象年齢です。
全て、罹ると治療法のない病気です。
秋になるとインフルエンザ予防接種が、冬になると
インフルエンザそのものの流行が始まります。
また、日本脳炎はウイルスをもつ蚊に刺されることで
罹患するので、蚊にさされやすい今の時期には予防
接種を受けておくことをお勧めします。

8月7日は『鼻の日』です

アレルギーや乾燥、風邪などで鼻の中を触ってしまう
と、鼻の穴の少し奥にある「キーゼルバツハ部位」と
いう血管の豊富な場所を傷つけて出血します。
また鼻粘膜に炎症があると、より出血しやすいので、
くしゃみや鼻をかむといった少しの刺激でも鼻血が
でます。一度傷がついたところは気持ち悪く気になる
ので、また触ってしまい鼻血をくりかえします。
鼻を触っているところを見かけたら、声をかけてあげ
てください。



休日診療（お盆休み中）

お盆の期間は多くのかかりつけ医院やクリニック
が休診になります。休診日を確認しておいてくだ
さい。急な発熱やケガに備えて、近くの救急病院
の診療時間や、帰省先・旅行先の救急病院の情報
も把握しておくとう安心です。また、病院を受診し
た方がいいのか、迷った時は電話相談窓口(小児
救急電話相談) #8000があります。
医師や看護師がアドバイスしてくれます。

注意してね3大夏型感染症(夏かぜ)

★手足口病

今年全国的に大流行で玉島でもりす組さんで流行し
ました。手・足・口の中・おしりなどに発疹ができ、
発熱することもあります。ほとんどの場合は数日で
治るのですが、まれに熱性けいれん・髄膜炎・小脳
失調症・心筋炎などの症状が出ることもあり、
しっかりと経過観察する必要があります。

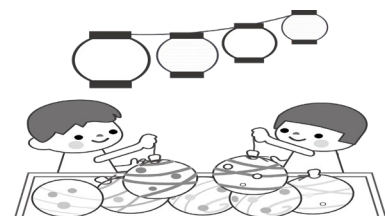
★ヘルパンギーナ

39℃以上の発熱が2、3日続き、のどが赤く腫れ、
痛みを伴う水疱や潰瘍ができます。のどの痛みが
強いと食事や飲み物が取りづらく、脱水に注意が
必要です。まれに熱性けいれん髄膜炎・心筋炎を
起こします。

★咽頭結膜熱(プール熱)

のどの痛み・目の充血(結膜炎)・39℃前後の発熱が
数日から一週間ほど続きます。また頭痛や吐き気、
腹痛、下痢を起こすこともあります。

いずれの病気もウイルスを含んだ便、唾液、
目やに、咳のしぶきなどを介して感染します。



8月のよてい

8月	5日(月)	0・1歳	身体計測
	6日(火)	2・3歳	身体計測
	7日(水)	4・5歳	身体計測